

初等教科教育法(生活)

1. 担当教員

名前: 佐野 裕子(佐野 裕子)

2. 授業の目的

(1) 授業の目的

小学校生活科の授業方法について理解し、学習指導計画の作成と模擬授業を通して実践的指導力を身に付けることを目的とする。

(2) 到達目標

- ① 小学校学習指導要領生活科の授業、方法について理解することができる
- ② 学習指導案の作成を理解し、学習指導案を作成することができる。
- ③ 学習指導案に基づいて模擬授業を行い、生活科授業のあり方について考えることができる。

(3) ディプロマ・ポリシーとの関連

人間発達学科のディプロマ・ポリシー「2. 保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の取得を目指す学生は、専門教育課程を通し、資格取得にとどまらず、よりよい職業人としての基礎を身につけること。」に基づき、特に小学校教諭として、生活科教育法の専門的な知識や理論、技能の習得に繋げていく。

3. 授業の概要

小学校学習指導要領解説生活科編を熟読し、生活科と低学年児童の特徴を理解し、指導計画の作成について理解を深めていく。また、作成した指導案を基に、模擬授業を行う。

グループで指導案の作成や模擬授業を行う等、グループ活動を設ける。

4. 授業計画と予習・復習の内容及び必要な時間

回	月日	テーマ・内容	予習・復習	備考
1		・ガイダンス 授業の目的、進め方について理解し生活科の授業の実際を理解する	小学校学習指導要領解説生活科編(総説)	
2		・生活科の目標 教科目標・学年目標を理解する	小学校学習指導要領生活科の理解	
3		・生活科内容の構成 内容の構成の考え方を理解する	小学校学習指導要領生活科の理解	
4		・内容の取扱いについての配慮事項 内容の取扱いについての配慮事項グループごとにまとめ、発表する	内容の取扱いについての配慮事項の復習	
5		・指導計画の作成と学習指導 生活科における指導計画の作成と年間指導計画についてグループごとにまとめ発表する	指導計画と学習指導、年間計画の作成	
6		・単元計画の作成と学習指導 生活科における単元計画の作成と学習指導の進め方についてグループごとにまとめ発表する	単元計画の作成と学習指導の進め方の復習	

7	・指導計画の作成と学習指導① 気付きの質を高めるための学習指導の進め方について検討する	指導計画の作成と学習指導の復習・予習
8	・指導計画の作成と学習指導② 素材の教材化について考察する	指導計画の作成と学習指導の復習・予習
9	・指導計画の作成と学習指導③ 学びの歓びを感じる生活科の授業について考察する	指導計画の作成と学習指導の復習・予習
10	・学習指導案の作成① グループで単元を決め、個人で指導案を作成する	指導計画の作成と学習指導の復習・予習 レポート 課題の提示
11	・学習指導案の作成② 学習指導案を発表し合い、意見交換し、グループごとに学習指導案の内容を検討する	指導計画の作成と学習指導の復習・予習
12	・学習指導案の作成③ グループごとに学習指導案を作成する	指導計画の作成と学習指導の復習・予習 レポート 課題の〆切
13	模擬授業① 模擬授業を実施し、振り返りと評価、改善策を探る	模擬授業準備
14	模擬授業② 模擬授業を実施し、振り返りと評価、改善策を探る	模擬授業のまとめ
15	生活科と総合的な学習の時間 学びを導く教師の指導方法	授業のまとめ
16	定期試験	

予習・復習 小学校学習指導要領解説生活科編を使った予習が必要。授業前に必ず該当するページに目を通して、疑問点をまとめてくること。復習では、その日のうちにノートをまとめ、疑問点を調べて加筆しておく。目安の時間として、授業1コマにつき、予習120分、復習120分が必要。

※ 授業の展開によっては、変更の可能性があります。変更の場合には随時お知らせします。

5. 評価方法

- (1) 授業中の発表や提出物の状況 (20%)
- (2) 課題レポート(30%, 第14回授業までにコメントを添えて返却する。)
- (3) 期末試験で専門的内容についての知識、理解 (50%)

6. 履修上の注意

- (1) 前提科目や履修条件: なし。
- (2) 資格要件に関する情報: 小学校教諭一種 必修
- (3) 特別な配慮を要する学生: 心配のある学生は申し出ること。